



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算説明

株式会社 丸山製作所

代表取締役社長 内山剛治

次の100年を創る
-All for the Future-



目次

1. 2025年9月期 第 2 四半期業績概要 P. 2
2. 2025年9月期 業績・配当予想 P.14
3. その他資料 P.22
財務諸表 等



1 2025年9月期 第2四半期 業績概要

【2024年10月1日～2025年3月31日】

2 2025年9月期 業績・配当予想

【2024年10月1日～2025年9月30日】

3 その他資料

財務諸表 等

2025年9月期 第2四半期 業績概要

単位：百万円	2024年9月期 第 2 四半期 実績			2025年9月期 通期予想	2025年9月期 第 2 四半期実績			
	金額	売上高 比率		金額	金額	前年同期比		売上高 比率
						増減額	増減率	
売上高	17,603	－		41,000	18,302	698	4.0%	－
営業利益	264	1.5%		1,200	△24	▲288	－%	－%
経常利益	253	1.4%		1,200	24	▲228	▲90.2%	0.1%
当期純利益	141	0.8%		700	△18	▲159	－%	－%
為替レート 米ドル	151円			145円	152円			
為替レート ユーロ	163円			160円	161円			

経済

- ・雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しやインバウンド需要の拡大など緩やかな回復基調
- ・地政学的緊張の長期化による資源・エネルギー価格の高騰
- ・米国による大幅な関税引き上げ

変動要因

- | | | |
|------|----------------|-----------------|
| 【日本】 | ・ アグリ向け大型機械の増加 | ・ 工業用ポンプの減少 |
| 【海外】 | ・ 北米向け刈払機の減少 | ・ 北米向け工業用ポンプの減少 |

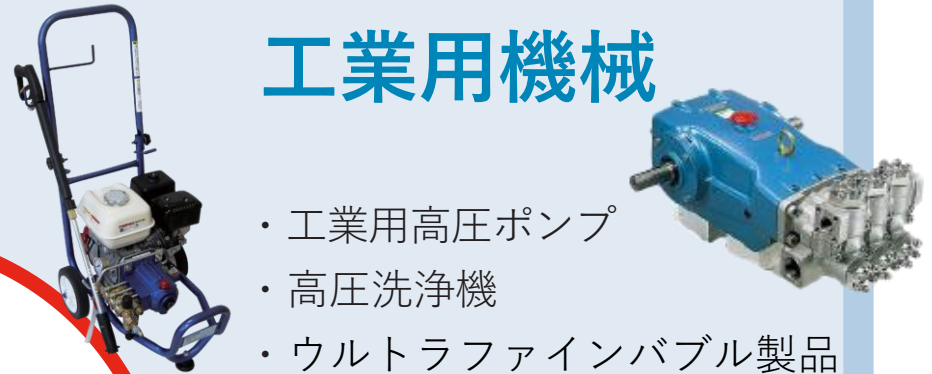
農林業用機械

- ・ 動力噴霧機
- ・ 動力散布機
- ・ 大型防除機
- ・ 刈払機
- ・ チェンソー
- ・ その他



工業用機械

- ・ 工業用高圧ポンプ
- ・ 高圧洗浄機
- ・ ウルトラファインバブル製品



その他の機械

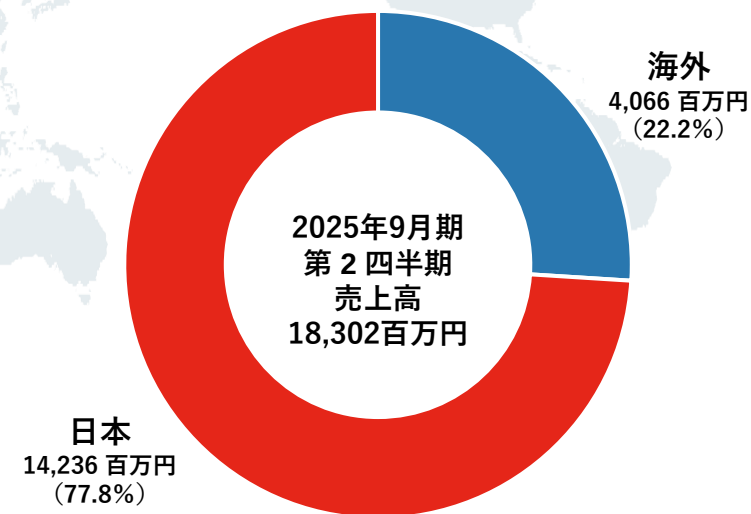
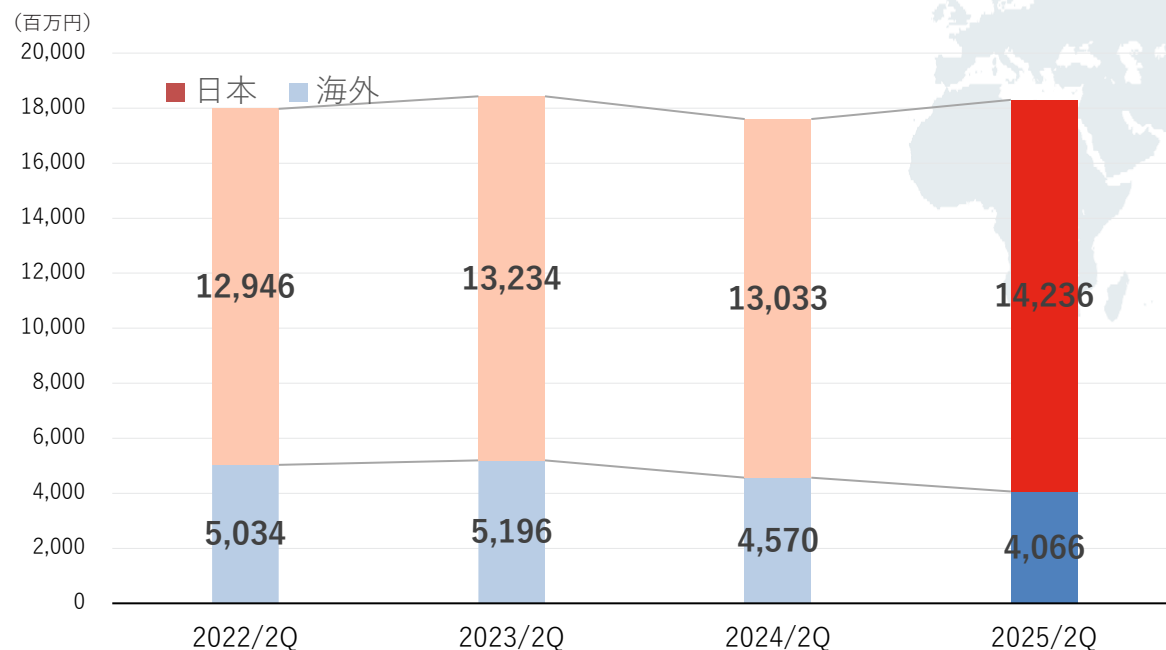
- ・ 消火器
- ・ 防災関連機器
- ・ その他



不動産賃貸他

- ・ 不動産賃貸
- ・ 売電事業

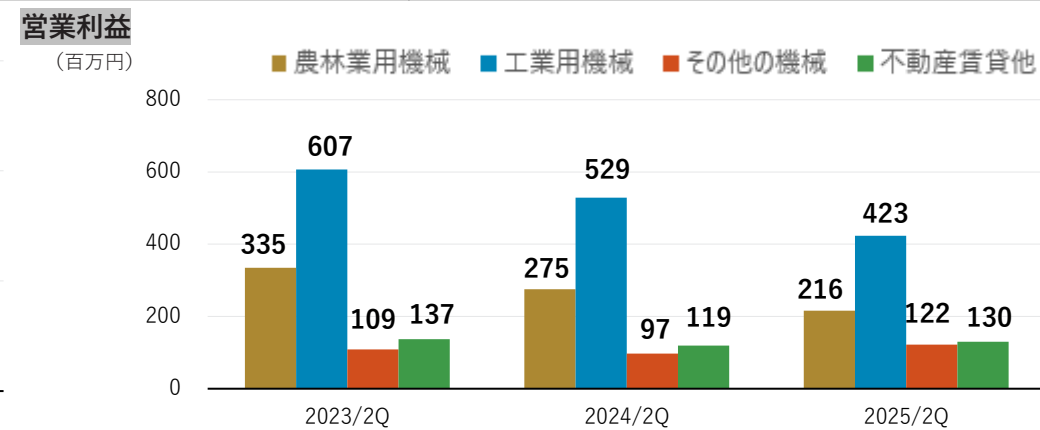
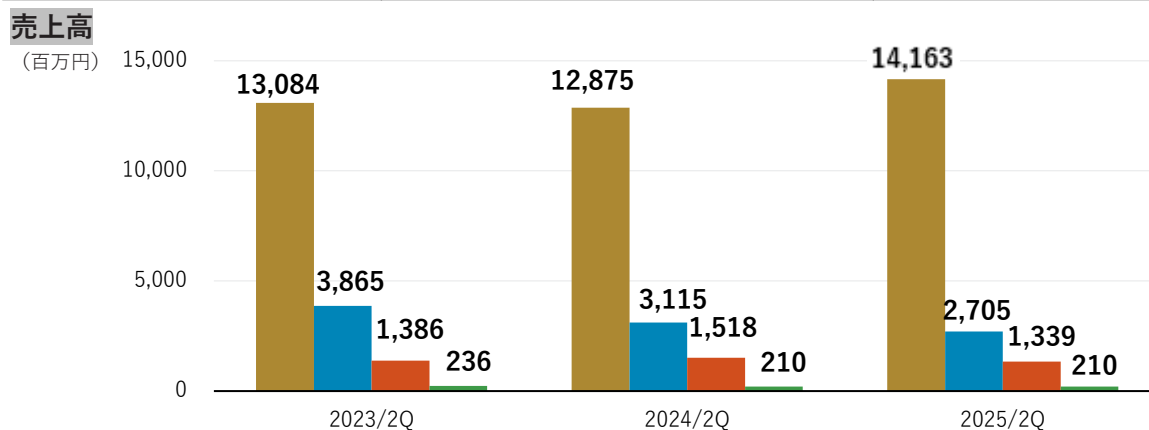
海外の売上高の状況



単位：百万円	2024年9月期 第2四半期実績		2025年9月期 第2四半期実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
海外	4,570	26.0%	4,066	▲503	▲11.0%	22.2%
日本	13,033	74.0%	14,236	+1,202	+9.2%	77.8%

セグメント別 業績概要

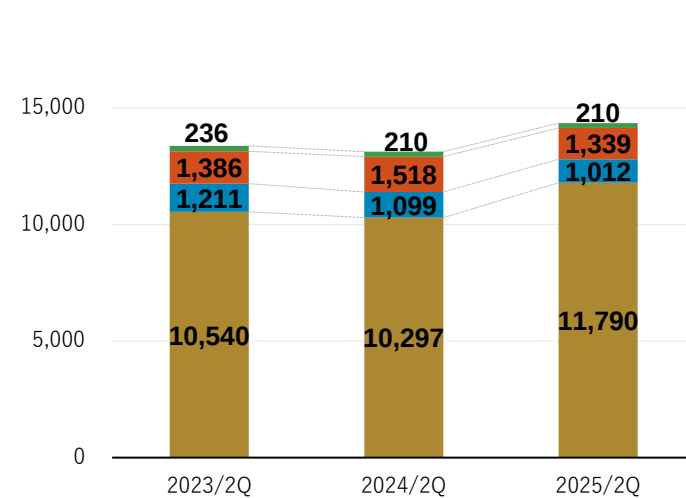
単位：百万円	2024年9月期 第2四半期 実績			2025年9月期 第2四半期 実績							
	売上高	売上高 構成比	営業 利益	売上高	前年同期比		売上高 構成比	営業 利益	前年同期比		営業利益 構成比
					増減額	増減率			増減額	増減率	
農林業用機械	12,875	72.7%	275	14,163	+1,288	+10.0%	76.9%	216	▲59	▲21.5%	24.2%
工業用機械	3,115	17.6%	529	2,705	▲410	▲13.2%	14.7%	423	▲106	▲20.0%	47.5%
その他の機械	1,518	8.6%	97	1,339	▲179	▲11.8%	7.3%	122	+25	+26.0%	13.7%
不動産賃貸他	210	1.2%	119	210	0	▲0.1%	1.1%	130	+11	+8.7%	14.6%
調整額 (セグメント間取引)	▲116	—	▲757	▲116	0	—	—	▲917	▲160	—	—
合計 (うち海外)	17,603 (4,570)	100.0% (26.0%)	264	18,302 (4,066)	+699 (▲504)	4.0% (▲11.0%)	100.0% (22.2%)	▲24	▲288	—	100.0%



セグメント別 売上高 [日本]

売上高

(百万円)
20,000

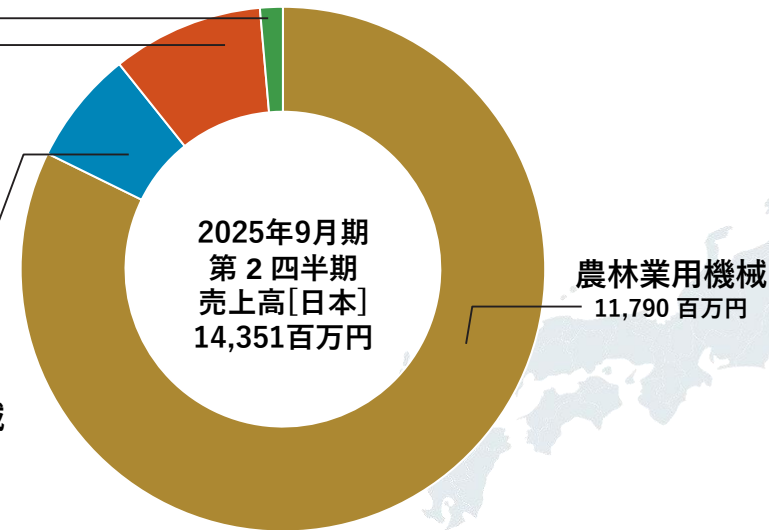


不動産賃貸他
210 百万円

その他の機械
1,339 百万円

工業用機械
1,012 百万円

農林業用機械：大型防除機の増加、動力噴霧機の増加、刈払機の増加
工業用機械：工業用ポンプの減少



単位：百万円	2024年9月期 第2四半期実績		2025年9月期 第2四半期実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	10,297	78.5%	11,790	+1,493	+14.5%	82.2%
工業用機械	1,099	8.4%	1,012	▲87	▲7.9%	7.1%
その他の機械	1,518	11.6%	1,339	▲179	▲11.8%	9.3%
不動産賃貸他	210	1.6%	210	0	0.0%	1.5%

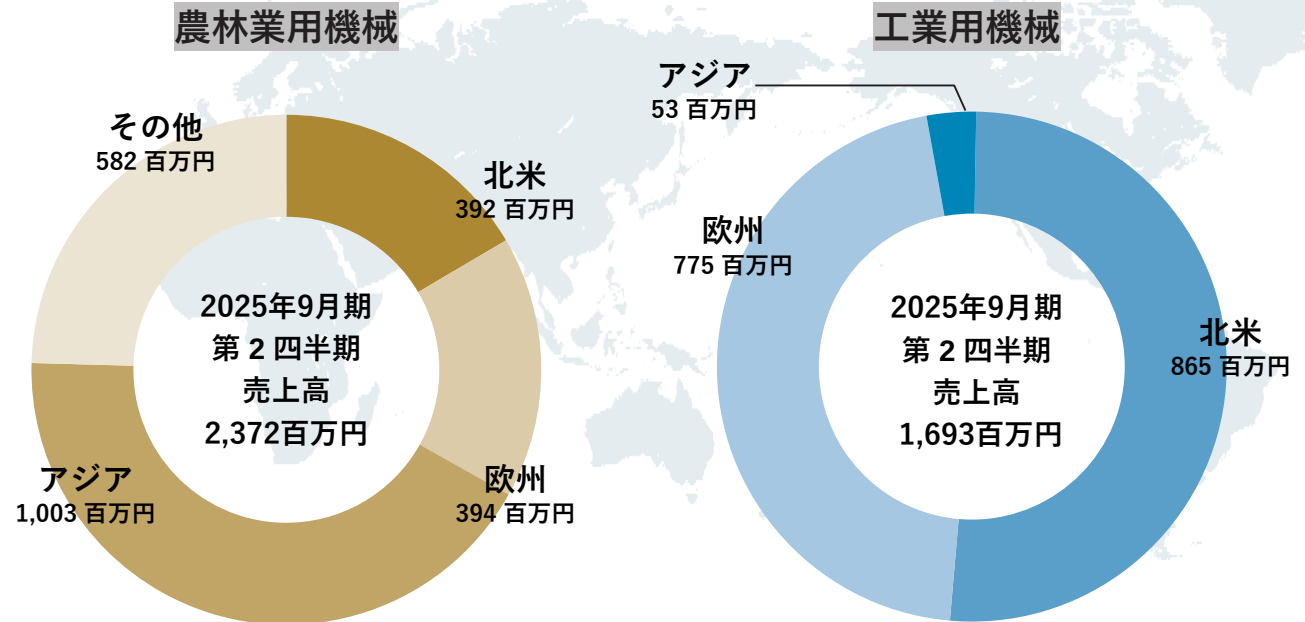
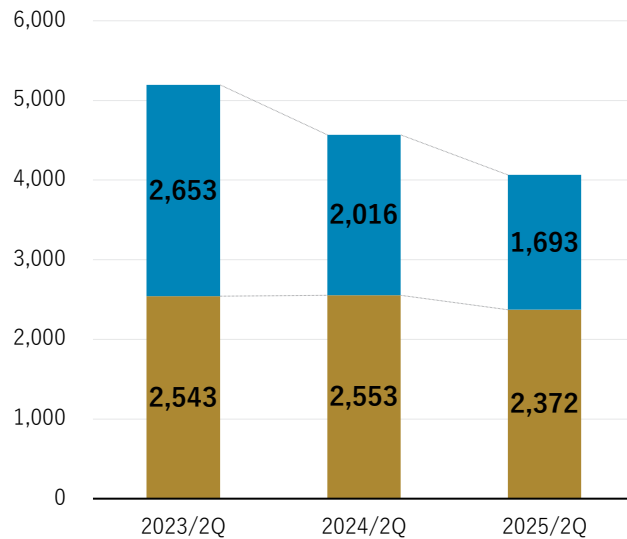
※セグメント別売上高はセグメント間取引を含んでおります。

セグメント別 売上高 [海外]

農林業用機械：北米向け刈払機の減少
工業用機械：北米向け工業用ポンプの減少

売上高

(百万円)



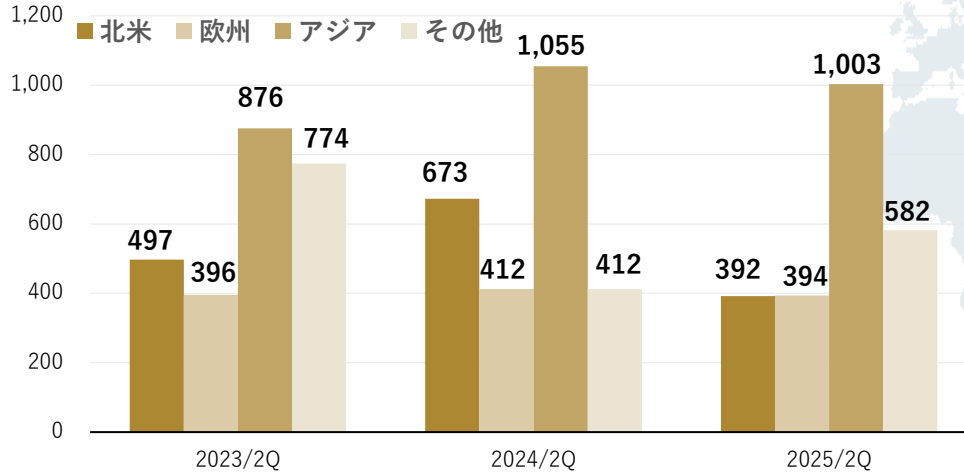
単位：百万円	2024年9月期 第2四半期実績		2025年9月期 第2四半期実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	2,553	55.9%	2,372	▲181	▲7.1%	58.4%
工業用機械	2,016	44.1%	1,693	▲323	▲16.0%	41.6%

※セグメント別売上高はセグメント間取引を含んでおります。

セグメント別 売上高 [海外地域別]

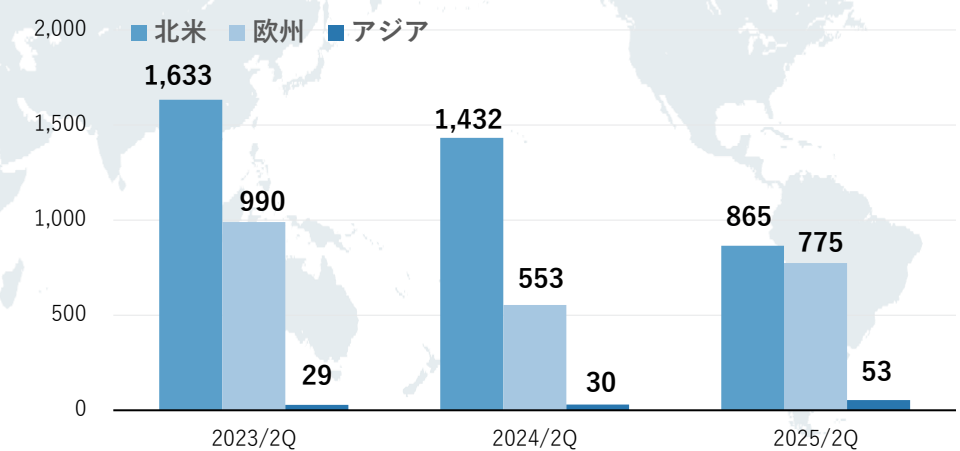
売上高 [農林業用機械 地域別]

(百万円)



売上高 [工業用機械 地域別]

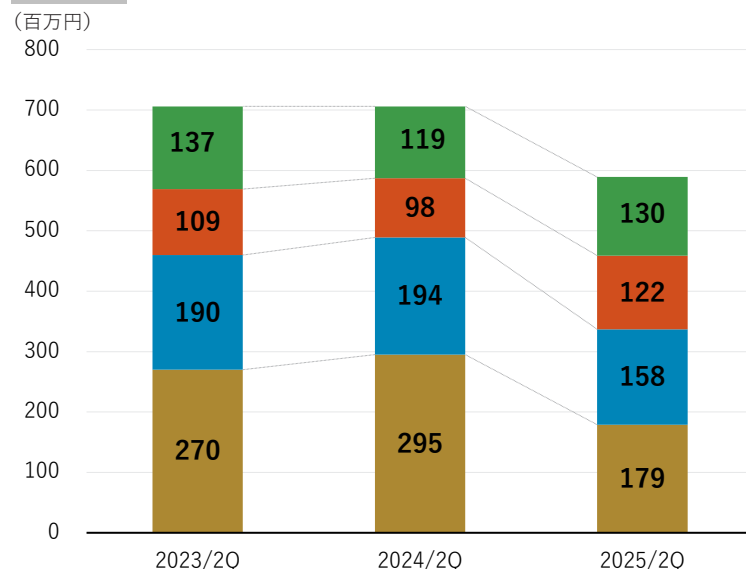
(百万円)



単位：百万円	2024年9月期 第2四半期実績		2025年9月期 第2四半期実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	2,553	55.9%	2,372	▲181	▲7.1%	58.4%
北米	673	14.7%	392	▲281	▲41.8%	9.6%
欧州	412	9.0%	394	▲18	▲4.4%	9.7%
アジア	1,055	23.1%	1,003	▲52	▲4.9%	24.7%
その他	412	9.0%	582	+170	+41.3%	14.3%
工業用機械	2,016	44.1%	1,693	▲323	▲16.0%	41.6%
北米	1,432	31.4%	865	▲567	▲39.6%	21.2%
欧州	553	12.1%	775	+222	+40.1%	19.1%
アジア	30	0.7%	53	+23	+76.7%	1.3%

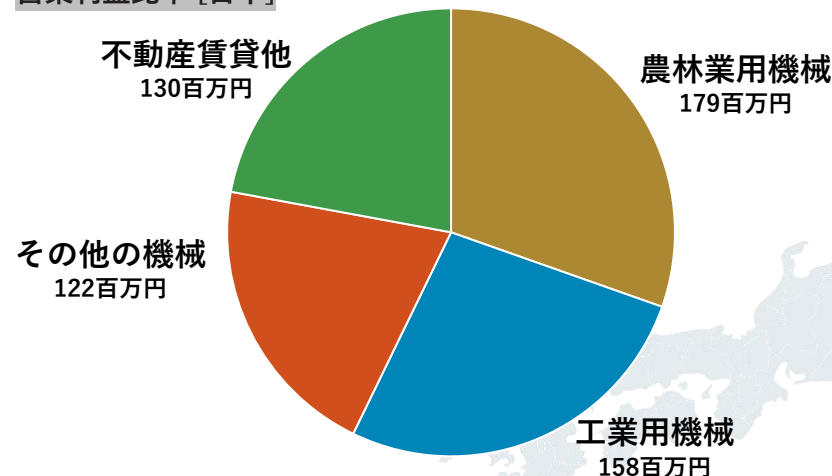
セグメント別 営業利益 [日本]

営業利益



農林業用機械：原材料高騰及び資材調達の混乱に伴う生産効率の悪化

営業利益比率 [日本]



単位：百万円	2024年9月期 第2四半期実績		2025年9月期 第2四半期実績			
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比		営業利益 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	295	41.7%	179	▲115	▲39.1%	30.4%
工業用機械	194	27.4%	158	▲35	▲18.4%	26.8%
その他の機械	98	14.0%	122	+24	+24.4%	20.8%
不動産賃貸他	119	16.9%	130	+10	+8.7%	22.0%

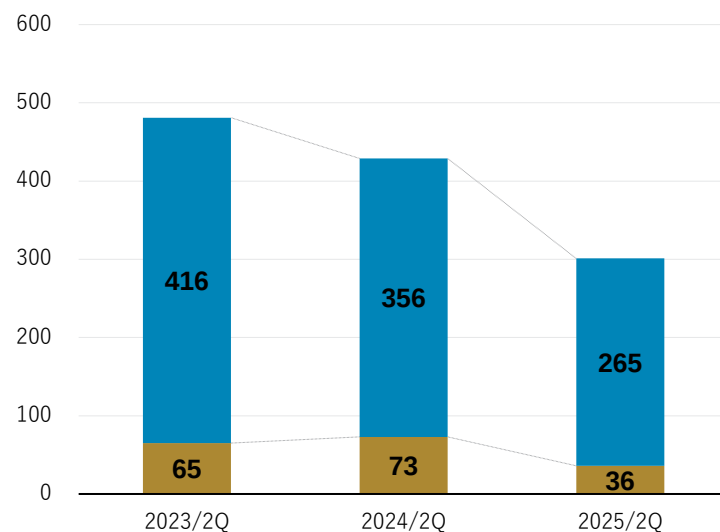
※営業利益は全社費用等調整前の金額であります。

セグメント別 営業利益 [海外]

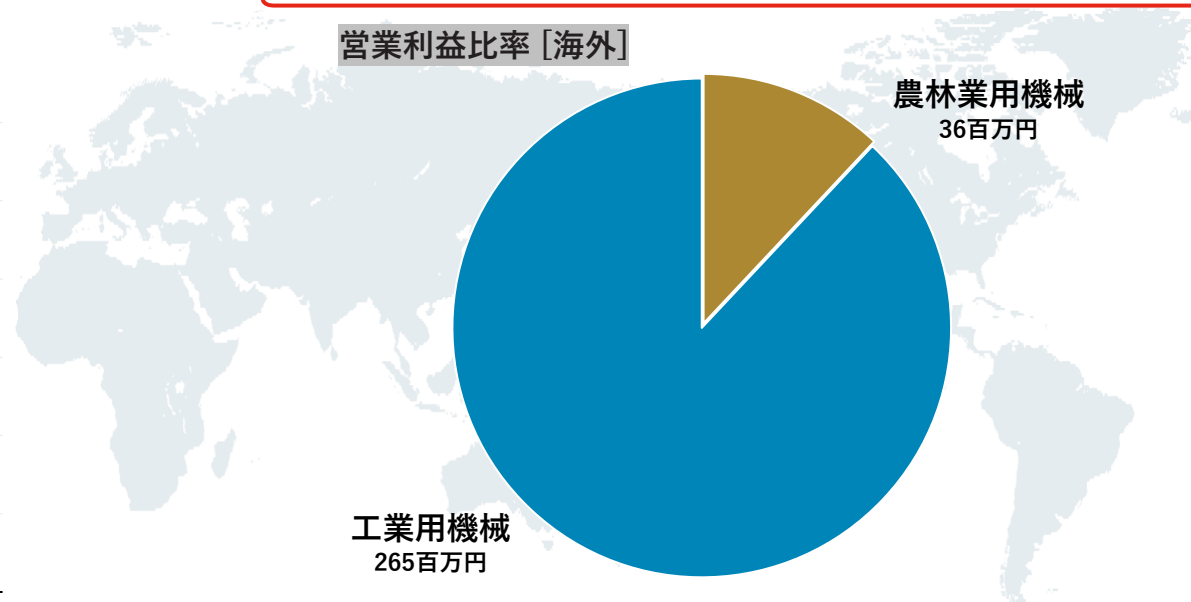
農林業用機械：北米向け刈払機の減少
工業用機械：北米向け工業用ポンプの減少

営業利益

(百万円)



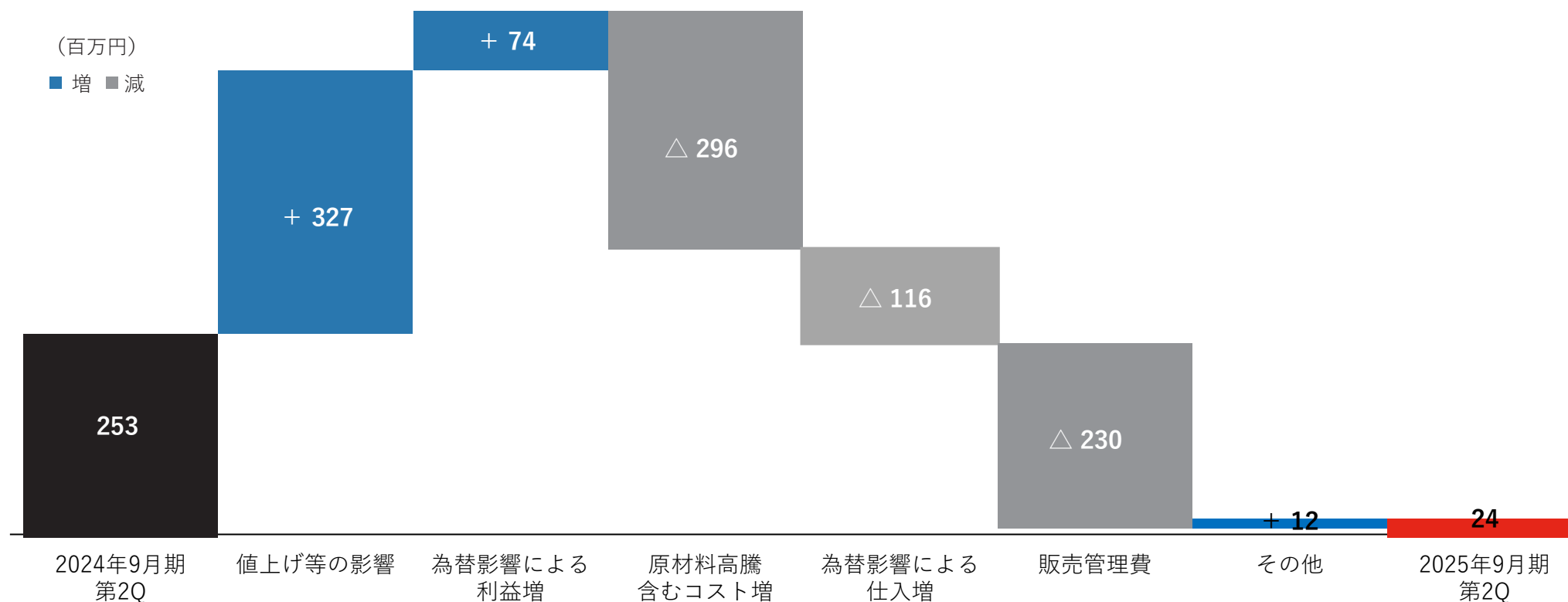
営業利益比率 [海外]



単位：百万円	2024年9月期 第2四半期実績		2025年9月期 第2四半期実績			
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比		営業利益 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	73	17.1%	36	▲37	▲50.6%	12.0%
工業用機械	356	82.9%	265	▲91	▲25.5%	88.0%

※営業利益は全社費用等調整前の金額であります。

2025年9月期 第2Q増減益要因分析 [経常利益]



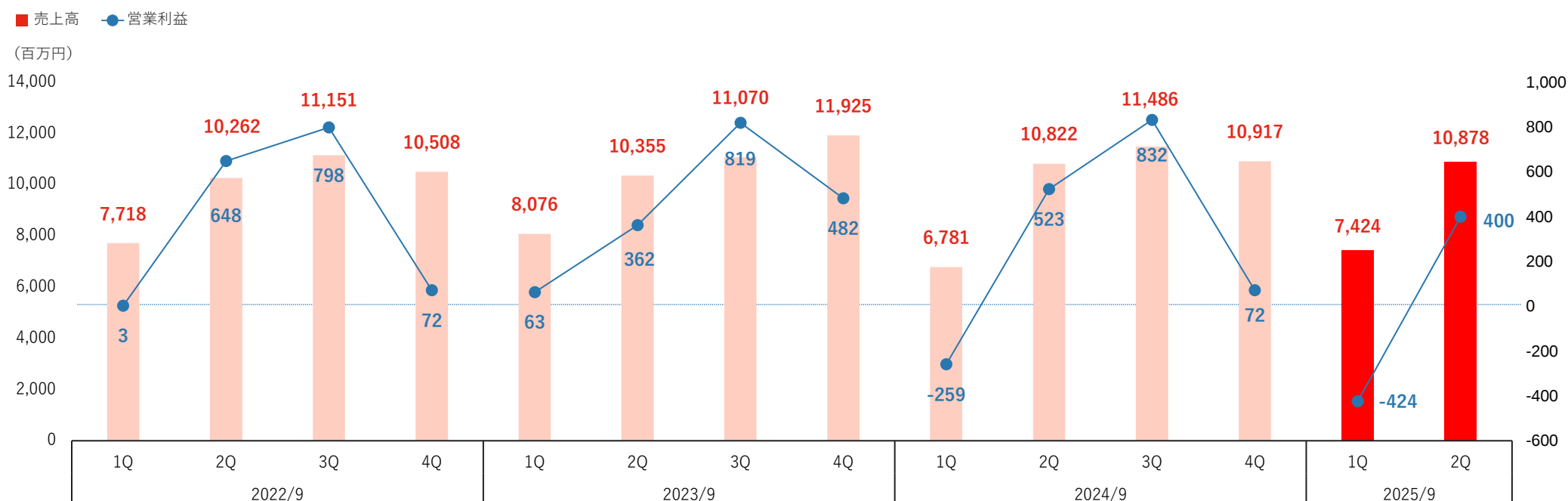
【＋】 値上げの影響（+327）、為替影響による利益増（+74）が主な要因

【－】 原材料高騰等の影響（△296）、為替影響による仕入増（△116）、販売費及び一般管理費の増加（△230）が主な要因

売上高・営業利益の推移 [四半期ベース]

売上高 は 18,302百万円（前年同期比 4.0%増）
営業損失は ▲24百万円

※国内の農業用機械の需要期が3月から7月であるため、売上・利益ともに第1四半期は他の期に比べ少ない傾向にあります。





1

2025年9月期 第2四半期 業績概要

【2024年10月1日～2025年3月31日】

2

2025年9月期 業績・配当予想

【2024年10月1日～2025年9月30日】

3

その他資料

財務諸表 等

2025年9月期 業績・配当予想

【通期連結業績・配当予想】

現状の原材料高騰や経費の増加などの課題に対する、製商品の値上げやコストダウン、固定費の削減などの対策の効果を見極めていく必要があるため、前回予想（2024年11月14日）は修正いたしません。

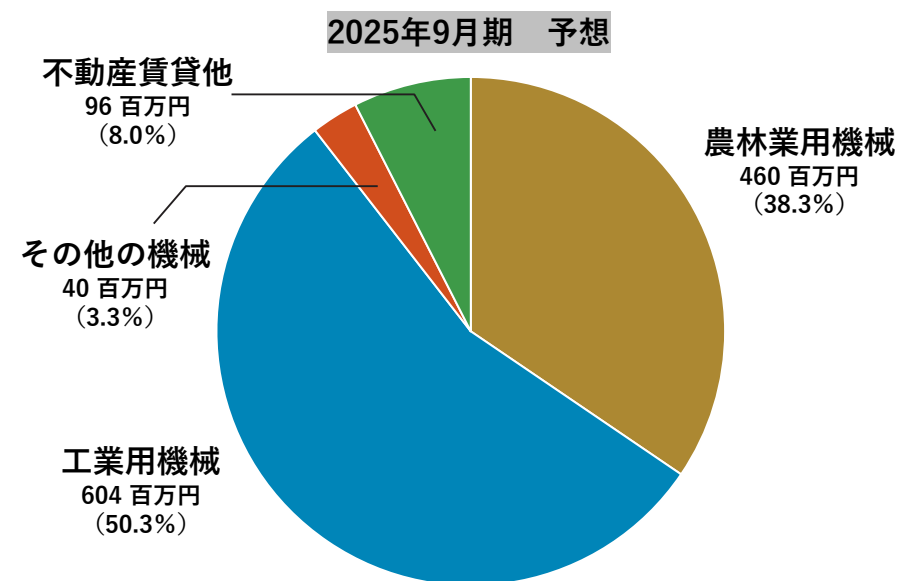
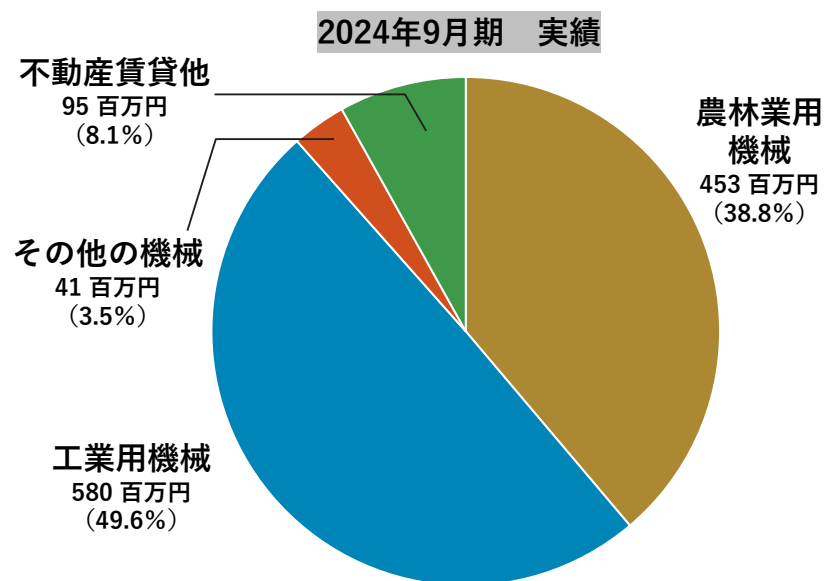
また、今期配当予想額（75円）につきましても、修正いたしません。

単位：百万円	2024年9月期 実績		2025年9月期 通期予想				2025年9月期 第2四半期実績	
	金額	売上高 比率	金額	前年同期比		売上高 比率	金額	進捗
				増減額	増減率			
売上高	40,006	—	41,000	+994	+2.5%	—	18,302	44.6%
営業利益	1,168	2.9%	1,200	+32	+2.7%	2.9%	▲24	—
経常利益	1,109	2.8%	1,200	+91	+8.1%	2.9%	24	2.0%
当期純利益	597	1.5%	700	+103	+17.2%	1.7%	▲18	—

2025年9月期 セグメント別業績予想

単位：百万円	2024年9月期 実績			2025年9月期 予想							
	売上高	売上高 構成比	営業 利益	売上高	売上高 増減額	売上高 増減率	売上高 構成比	営業 利益	営業利益 増減額	営業利益 増減率	営業利益 構成比
農林業用機械	30,238	75.1%	1,126	30,710	+ 472	+ 1.6%	74.5%	1,150	+ 24	+ 2.1%	38.3%
工業用機械	6,817	16.9%	1,439	7,300	+ 483	+ 7.1%	17.7%	1,510	+ 71	+ 4.9%	50.3%
その他の機械	2,759	6.9%	100	2,800	+ 41	+ 1.5%	6.8%	100	▲0	▲0%	3.3%
不動産賃貸他	423	1.1%	235	420	▲3	▲0.7%	1.0%	240	+ 5	+ 2.1%	8.0%
調整額 (セグメント間取引)	▲232	—	▲1,733	▲230	+2	—	—	▲1,800	▲67	—	—
合計	40,006	100.0%	1,168	41,000	+ 994	+ 2.5%	100.0%	1,200	+ 32	+ 2.7%	100.0%

セグメント別 営業利益予想



単位：百万円	2024 年 9 月期		2025 年 9 月期			
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	営業利益 構成比
農林業用機械	453	38.8%	460	+ 7	+ 1.5%	38.3%
工業用機械	580	49.6%	604	+ 24	+ 4.1%	50.3%
その他の機械	41	3.5%	40	▲1	▲2.4%	3.3%
不動産賃貸他	95	8.1%	96	+ 1	+ 1.1%	8.0%

対処すべき課題

第8次中期経営計画達成に向け、3年目である2025年9月期は以下5項目を重点に活動いたします。

重点項目	取り組み内容
海外市場の拡大	インド コスト低減、品質向上を意識し、販売を拡大させる
	タイ トータルコストダウンへの取り組み
	米国 大型防除機市場でのMARUYAMAブランドの確立
	コロンビア 現地法人を設立する準備を進め、現地に根差した製品、サービスを展開
新市場 工業用機械市場の拡大	支店単位でのエリアマネジメントの強化と新ルートの開拓
	市場開拓を可能とする競争力ある製品開発
	個人消費者向け製品の新製品投入によるMARUYAMAブランドの向上
人材活性化	個々の能力向上と行動改善
	心理的安全性を感じながら、働き甲斐と成長実感を得られる職場環境づくり
	組織風土改革と従業員満足度向上の実現
ガバナンス強化	BCM・BCP、製品安全・内部統制・コンプライアンスの体制強化
	グローバルでのグループ経営管理体制の高度化
	グループITガバナンスの強化
財務体質 デジタル強化	製品開発投資、設備投資、IT投資などの各投資の最適化
	生産部門全体でのトータルコストダウンに取り組むによる利益率向上
	在庫管理におけるデジタル化
	基幹システムの次世代化

2025年9月期通期達成への取り組み〔国内〕

【創業130周年キャンペーン】



創業130周年を迎え、記念キャンペーンを行っております。引き続きキャンペーンを実施し、製品の販売に努めてまいります。



バブリッシュ

【MUFB製品の拡販】

一般家庭用向けの新製品であるウルトラファインバブル洗濯機アダプタ【バブリッシュ】を投入いたします。「水で暮らしを豊かにしたい」という想いを胸に、その他MUFB製品とともに拡販活動を行ってまいります。

2025年9月期通期達成への取り組み [海外]



【ハイクリboom拡販】

北米向けハイクリboomの新製品を投入し、拡販を図っております。下期におきましても、販売網の構築に力を入れ、販売台数を増加させてまいります。
また、韓国や台湾市場での安定確保に努めてまいります。



【工業用ポンプ新製品投入】

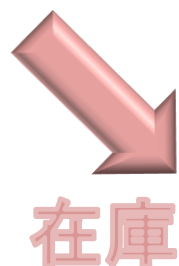
米国におけるシェールガス掘削作業向けの工業用ポンプの販売が好調に推移しており、引き続き販売を強化してまいります。

2025年9月期通期達成への取り組み [利益]



【トータルコストダウン活動】

前期より全社取り組みとして行っておりますトータルコストダウン活動（製造、販売、経費、物流、管理コストの低減活動）を強化いたします。



【在庫削減活動】

不要な在庫を削減し、利益の最大化を図ってまいります。



【製商品の値上げ】

日本、海外各国において価格改定を実施いたしました。今後も適時適切に製商品の値上げを行ってまいります。



1 2025年9月期 第2四半期 業績概要

【2024年10月1日～2025年3月31日】

2 2025年9月期 業績・配当予想

【2024年10月1日～2025年9月30日】

3 その他資料

財務諸表 等

貸借対照表

単位：百万円	2024年9月期 期末		2025年9月期 第2Q		増減額	主要因
	金額	構成比	金額	構成比		
総資産	38,706	100.0%	38,855	100.0%	+148	
流動資産	23,426	60.5%	23,326	60.0%	▲99	たな卸資産の増加 電子記録債権の減少
固定資産	15,280	39.5%	15,528	40.0%	+248	投資有価証券の増加
流動負債	16,033	41.4%	16,016	41.2%	▲17	支払手形及び買掛金、短期借入金の増加 電子記録債務の減少
固定負債	2,842	7.3%	3,263	8.4%	+420	長期借入金の増加
純資産	19,830	51.2%	19,575	50.4%	▲254	その他有価証券評価差額金の増加 利益剰余金の減少

	2024年9月期 期末	2025年9月期 第2Q
自己資本比率	50.8%	49.9%
流動比率	150.1%	145.6%

キャッシュフロー計算書

単位：百万円	2024年9月期 第2Q	2025年9月期 第2Q	増減額	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	▲843	▲739	+104	棚卸資産の減少など
投資活動によるキャッシュフロー	▲1,066	▲1,413	▲346	有形固定資産の取得による支出の増加
フリーキャッシュフロー	▲1,910	▲2,152	▲242	
財務活動によるキャッシュフロー	1,323	761	▲562	短期借入金の減少など
現金及び現金同等物期末残高	3,428	3,072	▲356	

[ウルトラファインバブル洗濯機アダプタ「バブリッシュ」を開発]

当社は、洗濯機水栓に取り付けるだけで洗濯をウルトラファインバブル水で行える洗濯機アダプタ「バブリッシュ」を開発いたしました。

■バブリッシュとはー毎日使っている洗濯機を特別なものにー

「バブリッシュ」は、洗濯機の水栓に取り付けることで、洗濯水を丸ごとウルトラファインバブル水にできる製品です。目に見えないほど微細な泡の力で、衣類のみならず洗濯槽や排水ホースまでキレイにし“洗濯力”をブーストします。



■バブリッシュの特長・効果

①洗剤・柔軟剤の効果をブースト

バブリッシュによって生成したウルトラファインバブルに洗剤や柔軟剤の成分が吸着し、繊維の奥深くまで浸透させ、洗剤・柔軟剤の効果をさらに発揮させます。

②給水ホース～洗濯槽～排水ホースまで洗濯機丸ごとキレイに

給水ホースから洗濯槽、排水ホースまでウルトラファインバブル水が通るため、使い続けるほど給水ホースの内側や洗濯槽、排水ホースもきれいになります。

③工具不要、10秒で簡単取り付け

洗濯水栓の規格に対応しているため、水栓を閉め、水栓と給水ホースの間に差し込むだけで簡単に取り付けが可能です。

[130周年記念ムービーを公開しました]



1895年に創業した丸山製作所は、本年、130周年を迎えることができました。
それを記念し、丸山の歴史から現在の取り組み、100年先の未来に向けた姿勢
を動画にまとめました。

私たちが130周年を迎えられたのは、皆様のご支援のお
かげです。共にこの節目をお祝いできることに、心より感
謝いたします。

次の100年も、とことん未来に向き合い、勇気を持って
挑戦し常に進化し続けてまいります。



130周年記念ムービー

[プロサッカークラブ モンテディオ山形とスポンサー契約を締結]

当社は、日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属し、山形県をホームタウンとする「モンテディオ山形」とのクラブスポンサー契約を締結いたしました。

■スポンサー契約締結の背景

当社は2019年より、モンテディオ山形の「サプライヤー・パートナー」として、ピッチ散水用のステレオスプレーやスプラッシュシートへの噴霧用の動噴等をご利用いただいております。本年度からはクラブスポンサーとして、2025年シーズンのチームのより一層の活躍を応援してまいります。



■モンテディオ山形について

山形県を拠点とするプロサッカークラブ。チーム名はイタリア語の「MONTE (山)」と、「DIO (神)」を組み合わせた造語で「山の神」を意味しています。山形県の霊峰出羽三山と頂点を目指すチームを表しています。



©MONTEDIO YAMAGATA

当社は今後も、皆様に喜ばれるような商品を提供し、経済活動の発展に貢献できるよう取り組んでまいります。

モンテディオ山形 オフィシャルサイト:
<https://www.montedioyamagata.jp/>
 運営会社:株式会社モンテディオ山形
 代表取締役社長:相田 健太郎

[農業機器ユーザー向けアプリ「丸山コネクト」を無料提供開始]

製品をより身近に
もっと便利に



丸山コネクト

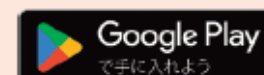
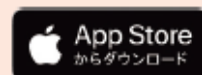
当社は、農業従事者や農家の方々向けに、当社の農業機器をより便利にご利用いただくための専用アプリ「丸山コネクト」を無料で提供開始しました。

当社はDX(デジタルトランスフォーメーション)を通じて、さらなる顧客体験の向上を目指し、新たなビジネスモデルの構築に取り組んでおり、このアプリも、当社のDXへの取り組みの一環として、提供しております。

今回のリリースでは、取扱説明書の閲覧機能を提供いたします。今後もさらに機能を追加提供し、顧客体験の向上をデジタルでもサポートしてまいります。

ダウンロード方法

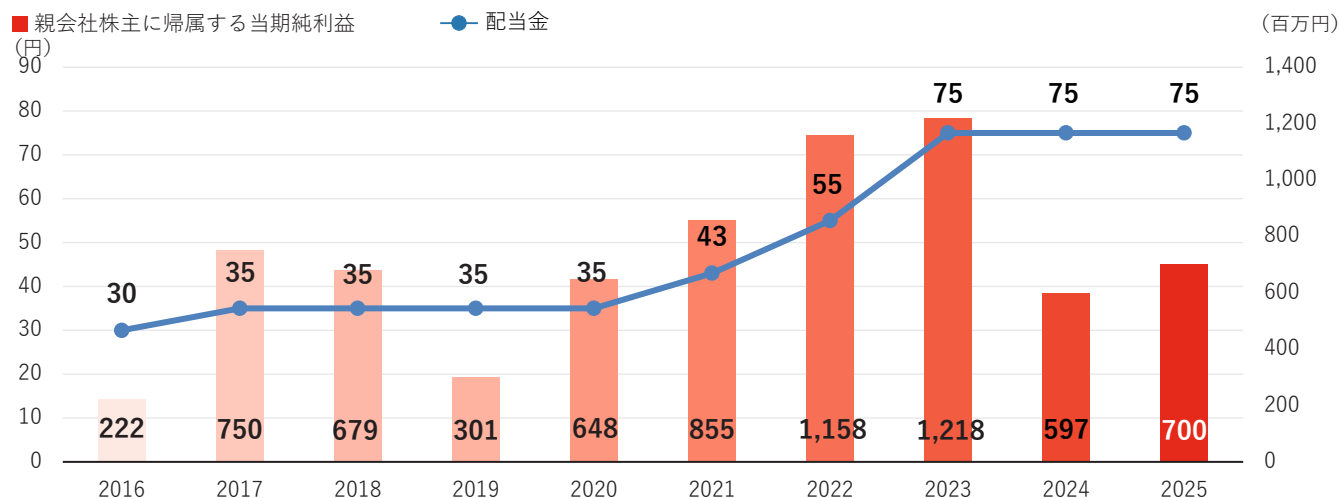
「丸山コネクト」アプリは、
App StoreおよびGoogle Playで
無料でダウンロードいただけます。



株主還元

- ・当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置づけ、将来の事業展開に必要な内部留保・各種投資、業績見込みを勘案したうえで、配当性向25%～30%を目安としつつ株主資本配当率（DOE）などの各種指標を加味し、安定的な配当を継続することを基本方針としております。また、健全な経営の維持と将来の経営環境への対応を勘案しながら、株主還元を更に充実させていくことは重要と捉え、今後、配当性向の向上、自己株式の取得、株主優待の充実に取り組み、長期安定的な配当水準の向上に積極的に努めてまいります。

・ 今期の配当予想額は 1 株につき 75 円



ご参考－配当性向

配当金のみ	53.0%
株主優待を含めた配当性向	55.5%

ご参考－総還元性向

配当金額	316 百万円
自己株式取得総額	434 百万円
合 計	750 百万円
総還元性向	125.7%
(株主優待を含めた場合 128.2%)	

※ 2017 年 4 月 1 日付で普通株式 10 株を 1 株とする株式併合を実施したため、1 株あたりの配当金については 2016 年に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

株主優待

株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式に対する中長期的な投資魅力を高めることを目的として、株主優待制度を実施しております。

・ ESG活動の一環としてQUOカード 1 枚につき 10 円を社会貢献団体に寄付することとし、自然保護等に役立ててまいります。

【贈呈対象】

毎年9月30日の当社株主名簿に記載されており、100株以上の当社株式を1年以上継続保有されている株主様

継続保有期間	保有株数	株主優待
1年以上3年未満	100株以上	QUOカード1,000円分
3年以上5年未満	100株以上200株未満	QUOカード2,000円分
	200株以上	QUOカード2,500円分
5年以上7年未満	100株以上200株未満	QUOカード3,000円分
	200株以上	QUOカード4,000円分
7年以上	100株以上200株未満	QUOカード5,000円分
	200株以上	QUOカード6,000円分

注) 継続保有期間の確認にあたっては、3月31日及び9月30日の株主名簿に連続して記載される同一の株主番号の回数並びに各回において100株以上の確認を基準といたします。

- ・ 1年以上3年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続3～6回記載
- ・ 3年以上5年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続7～10回記載
- ・ 5年以上7年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続11～14回記載
- ・ 7年以上：株主名簿に100株以上の保有を、連続15回以上記載

注) 以下の場合株主番号が変わり、継続保有となりませんのでご注意ください。

- ・ 証券会社の貸株サービスを利用して貸株された場合
- ・ 保有株式を全て売却した後に買い戻した場合
- ・ 株式をお預けの証券会社を変更された場合
- ・ 名義変更などにより株主番号が変更された場合

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

【IRに関するお問い合わせ先】

株式会社丸山製作所
人事総務部

〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-4-15

E-mail : ir-contact@maruyama.co.jp